

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区
大磯ロータリークラブ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀 会長エレクト 百瀬 恵美子 幹事 大藤 勉

第2348例会 平成27年10月29日 No.16

■司会：田中 敏治 ■点鐘：河本 親秀 ■合唱：それこそロータリー

◇プログラム ・11月1日：宿場まつり ・11月12日：理事会、ゲストスピーカー井上一様

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率	欠席者(7名)
2348回	17(15)	8	53.33%	—	—	小林、宮澤、石山、原、太田、野田、斎藤(正)さん
2346回	17(15)	9	60.00%	—	—	◇メイクアップ(0名)

◇おめでとうございます



敬老祝：
笹尾政儀さん



結婚記念日祝：

笹尾政儀さん(10/25)

美しい花束を頂戴し、有り難うございました。長男が67才になりましたから、結婚68回目の記念日です。感無量です。(拍手)

◇会長報告

久しぶりに出席下さって、敬老祝と結婚記念日祝をお渡しできて嬉しい例会となりました。笹尾さんは地区大会でも長寿祝(93才)を受けておられます。

笹尾さんから本日特別

河本親秀会長



スマイルを頂きました。有り難うございました。

1. 地区大会の概要報告：第2347回地区大会・会報参照
2. 大磯宿場まつりがいよいよ3日後に迫りました。当日朗多里座に飾るポリオ・プラス・キャンペーンの幟、ポスター、パンフレット100部、募金箱2、が地区より送られて参りました。是非皆さん出席頂いて、募金活動をお願いします。

◇幹事報告

1. ソウル国際大会参加推奨のお知らせ。
2. 田中賢三ガバナー、山口利通地区大会委員長からお礼状。
3. 11月ロータリー・レート：\$1=120円 10月も120円でした。
4. 地区研修協議会報告書が7冊参りました。希望者はお持ち下さい。
5. 米山学友会主催国際交流会開催の案内： 11月21日(土)13時受付、大和市清風にて

大藤勉幹事



6. ロータリー・キャンペーン用のロータリーマーク入り短袖シャツの見本が来ています。希望者は申し込んで下さい。単価5千円、内500円はポリオ・プラス寄付です。

◇田中敏治SAA：テーブル上のお菓子は百瀬さんからの寄贈です。何時も有り難うございます。

◇委員会報告

☆スマイルボックス 百瀬恵美子さん

・笹尾政儀さん：私は、体調を崩し、入院、手術等で長期間、例会を欠席し、クラブから御見舞金を頂戴し、誠に有難う御座居ました。又先日は、68回目の結婚記念日を迎えて、美しい花束を頂き感夢想です。

・井上浩吉さん：笹尾さんお久振りです。新宅さん卓話よろしく。

・守屋紀忠さん：笹尾さん、お久しぶりです。お元気になられて嬉しいです。新宅さん卓話よろしく。

・新宅文雄さん：笹尾さん結婚記念日おめでとうございます。お元気になられて大変うれしく思います。

・田中敏治さん：笹尾さん、お会いできてうれしいです。これからも元気で、宜しくお願い致します。新宅さん、卓話、宜しくお願い致します。

・百瀬恵美子さん：笹尾さん、お久しぶりです。御結婚記念日おめでとうございます。新宅さん卓話たのしみです。

☆社会奉仕委員会：田中敏治委員

第22回大磯宿場まつり：

10月31日(土)13時：朗多里座設営準備

11月1日(日)：備品は8時頃搬入＝エンド・ポリオ・ポスター、幟旗、パンフレット。大磯RC幟旗、たすき、募金箱、お茶、お茶菓子、紙コップ等＝車4台分の入門許可証を準備します。

皆様のご協力をお願いします。



◇卓話

◆◆◆「吉田 茂」の足跡◆◆◆

新宅 文雄さん



吉田茂は終戦の昭和20年9月から昭和29年12月まで国を導き、占領下で廃墟・混乱の中から優れた外交感覚で戦後日本の再建・繁栄への礎を築いたリーダーでした。

吉田茂の政治生活は日本の政治史そのものです。敗戦後の占領軍/マッカーサーの管轄下、21年4月総選挙で第一党となった自由党総裁・鳩山一郎が公職追放を受けたため外務大臣であった吉田茂が組閣したのが始まりです。

第一次吉田内閣：食糧危機を粘り強い交渉力でアメリカから食料七千万トンを獲得して克服。戦争放棄を謳う新憲法制定。悪政インフレによる労働争議続発、2.1ゼネスト計画を阻止(マッカーサーの中止命令による)するもマッカーサーから責任を問われ衆議院解散。代わって社会党が第一党に。吉田は新たに民主自由党を結成、保守政権への足固めを計る。昭和電工疑獄事件で片山内閣を継いだ芦田内閣は僅か7ヶ月で崩壊。

昭和23年10月15日首相に指名され第二次吉田内閣誕生、しかし少数単独内閣であった為、年末に国会を解散、翌年1月の総選挙で264議席(過半数)を獲得し、第三次吉田内閣が成立した。戦後4年まだ戦後の復興は見えていない。経済不安は高まり、食料の遅配・欠配が続出。職安には求人3倍以上の人達がひしめき合っていた。この頃米ソの対立激化、冷戦状態が深まっていった。アメリカは日本を自由陣営の一員として自立を強く求めるようになった。そこには再軍備を求める圧力もあった。

政府は経済再生の為、シャープ勧告やドッジ・ライン(デフレ脱却対策)を実行。厳しい緊縮予算による公務員40万人の人員整理、下山事件、三鷹事件、

松川事件など血なまぐさい事件が相次いだ。しかし、この厳しいデフレ政策は着実に復興の手がかりになりつつあった。昭和24年5月に証券取引所が再開された。

昭和25年6月25日朝鮮戦争勃発、日本の経済復興に弾みをつけた。一方マッカーサーの指示で警察予備隊が創られた。これが防衛論争のきっかけになった＝「戦争放棄は自衛権を放棄することではない」昭和26年1月ダレス國務長官来日、日本再軍備を要求。吉田は経済第一主義を主張しこれを拒否した。朝鮮戦争動乱の最中、吉田がこれを呑んでいたら再軍備に弾みがついた事であろう。この時の吉田の強い意志は戦後の日本の強い道標となった。昭和26年4月マッカーサーが突然解任された。この6年間で吉田は74回もマッカーサーと会見を重ねている。吉田は両者の信頼関係のもとで激動日本の舵を取った。

講和条約：単独講和か全面講和か鋭く対立。8月31日吉田を主席とする6名の講和全権団がサンフランシスコへ。9月8日調印式。オペラハウスには共産圏を除く52カ国の代表が集まった。講和条約と共に日米安全保障条約が調印された。アメリカ軍の日本駐留を認めるものであった。翌年4月28日講和条約発効、日本の主権は回復した。しかし沖縄、北方領土問題は後に残された。

独立後初のメーデーはかつてない流血のメーデーとなった。破壊活動防止法への不満が発端であったが、この事件が破防法成立を促す結果となった。

独立後、公職追放となった鳩山等有力政治家が続々復帰し、与野党を通じた政界再編成の流れが加速。自由党内でも長期に渡る吉田ワンマン体制に対する批判が高まっていた。吉田派、鳩山派の対立は激化の一途を辿り、反吉田勢力を押さえる為、吉田は突如衆議院を解散＝抜き打ち解散＝その結果過半数を制して第四次吉田内閣が誕生するが、党内の分裂状態は続いた。

昭和28年2月吉田が衆議院予算委員会での質疑中、自席で「馬鹿野郎」とつぶやいた事に対し野党は懲罰動議を提出。動議が可決され、続いて内閣不信任案・決議案も可決されるに至り、吉田は衆議院を解散した。

4月の総選挙で自由党は第一党を確保したものの、過半数を割り第五次吉田内閣は難しい政権運営を強いられる事となった。更に窮地に追い込んだのが造船疑獄だった。事件は政界、官界に広がり、自由党幹事長佐藤栄作の逮捕の方針が決定された。しかし委員会に掛ける交渉は指揮権を発動し逮捕請求の延期を指示した為、大きな批判を呼んだ。

昭和29年11月7日、吉田は内閣総辞職を決意、6年にわたる首相の座から去った。

政権は鳩山、石橋、岸、池田、佐藤へと移っていった。吉田は大磯から時代の動きを静かに見守っていた。

昭和35年池田総理による所得倍増政策が発表され、経済の高度成長が始まった。吉田がまいた種が実ったと言って良いだろう。

皇室を敬愛していた吉田にとって皇太子のご成婚は事に嬉しい出来事だった。

昭和39年第1回生存者叙勲で大勲位を受ける。

昭和42年10月20日大磯の自宅で死去、10月31日日本武道館で戦後初の国葬が執り行われた。会葬者は3万5千人にのぼり午後3時半から7時半まで献花の列が続いた。

以上